

新型コロナウイルスの流行で「自身の仕事や収入が減少した」者が23.4%、 「ストレスがたまったり気鬱になったりした」者が31.0% ～年金シニアプラン総合研究機構が調査結果（速報）を公表

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区。理事長高山憲之一橋大学名誉教授）は、「第5回独身者の老後生活設計ニーズに関する調査」を本年6月22日から23日にかけて、40～64歳の未婚男女2500人を対象として実施した。

一般、本調査のうち新型コロナウイルスの流行が対象者に与えた影響に関する質問への回答の集計結果について他の設問の回答の分析に先行して公表するものである。

■調査概要

本調査は、独身男女の仕事、家族・家計(含む年金)、住まい、今の生活、老後の生活の状況を調査し、独身男女の置かれている様々な生活状況と老後への備えを探ろうとするものであり、平成12年度に独身女性を対象として開始した。以後5年ごとに調査を重ね今回が第5回目となる（前回調査より男性も対象）。

今回の調査の実施に当たり、新たな項目として新型コロナウイルス流行の影響が追加された。

■新型コロナウイルスの流行による影響

新型コロナウイルスの影響で、全体の23.4%が「自分の仕事や収入が減少した」としている。全体の31.0%が「連日の報道や外出制限でストレスがたまったり、気鬱になったりした」としており、自身の仕事・収入が減ったと感じる人の割合より高くなっている。

マスクやトイレットペーパー等の必要なものについては、買い増しをするより、むしろ買うことができずに困った人が多く、また、これらの2項目については、女性の方がより影響をうけているようにみえる。

新型コロナウイルスの流行によって、あなた自身どのような影響がありましたか。(いくつでも)

		勤務先の倒産・廃業、整理解雇	自身の仕事や収入が減少した	家族の仕事や収入が減少した	働き方が変わった(在宅勤務、時差出勤など)	社内のウイルス対策で仕事が増えた	流行により、製品需要が増え、仕事も増えた	収入減により家計が困窮している	マスク、トイレットペーパー等必要なものが買えず困った	マスク、トイレットペーパー等が買えなくなると困るので、必要だと思うものは普段よりも多く購入した	連日の報道や外出制限でストレスがたまったり、気鬱になったりした	その他	回答者
全体	人数	60	585	83	436	121	43	147	807	212	774	292	2500
	%	2.4%	23.4%	3.3%	17.4%	4.8%	1.7%	5.9%	32.3%	8.5%	31.0%	11.7%	100%
男性	人数	33	296	34	202	42	26	72	379	70	364	164	1250
	%	2.6%	23.7%	2.7%	16.2%	3.4%	2.1%	5.8%	30.3%	5.6%	29.1%	13.1%	100%
女性	人数	27	289	49	234	79	17	75	428	142	410	128	1250
	%	2.2%	23.1%	3.9%	18.7%	6.3%	1.4%	6.0%	34.2%	11.4%	32.8%	10.2%	100%

■調査全体の分析・公表

第5回独身者の老後生活設計ニーズに関する調査の全体については、現在機構に設置した調査研究会において分析中であり、令和3年春を目途にとりまとめ、公開の予定である。

照会先

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構 秋田、長野
電話 03 (5793) 9411 soumubu@nensoken.or.jp

(参考)

1 今回の調査の概要

- 調査名 独身者（40～60代前半）の老後設計ニーズに関する調査
- 調査方法 ネット調査
- 調査期間 令和2(2020)年 6月22日～6月23日
- 調査会社 株式会社クロス・マーケティング
- 調査対象者 40～64歳の未婚男女2500人(男性：1250人、女性1250人)

2 今後の予定

- 本調査については、(公財)年金シニアプラン総合研究機構に設置した調査研究会において、調査設計及び分析を実施している。
- 今後、分析を進め、明年春を目途に全体結果を公表する予定です。

3 過去の調査結果について

- 過去4回の調査結果については、当機構ウェブサイトより一部閲覧が可能です。

<https://www.nensoken.or.jp/>

※前回調査については「年金研究No.3」(2016年6月)